



2年学年だより

発行日：令和元年 11 月 30 日（土）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：三浦 昌彦 NO. 7

令和2年度生徒会役員選挙が行われました！

11月12日（火）に令和2年度生徒会本部役員を選出する立会演説会が、高校と合同で行われました。候補者たちは「これまでの先輩方がつくり上げてきた生徒会活動を、全校生徒がより納得できるものにしていきたい」「本部役員でなかった時に感じていたことを、本部活動にいかしていきたい」「みんなの笑顔があふれる学校生活にしていきたい」など、思いを熱く語りました。同日に投票した結果、令和2年度生徒会本部役員が以下の通り決定しました。

生徒会長	2年3組	■■■■	さん
役員	2年3組	■■■■	さん、2年3組
	2年4組	■■■■	さん
	1年2組	■■■■	さん、1年4組
		■■■■	さん



令和元年度 現生徒会本部役員のみなさん



令和2年度 新生徒会本部役員のみなさん

今年度、生徒会本部は「つながりをつくろう過ごしやすい学校 ～一人ひとりの姿勢から～」という生徒会目標を掲げて活動しています。例えば3学年の交流の場として先輩たちから受け継いできているSLM（スマイルランチミーティング）の運営方法をアップデートしたり、ドッチボール大会を全校交流イベントとして12月2日（月）の開催を計画したりしています。12月から3月までの4カ月、現役員と新役員の11人がともに活動することで、生徒会活動の引継ぎとパワーアップとを目指していきます。

本部役員は附属中生の代表として活動していきますが、附属中学校を作っていくのは全校生徒のみなさんです。開校以来8年が経過している南高校附属中学校は、原型こそ固まりつつあるかもしれませんが、生活している生徒一人一人は常に変化しています。これまで先輩方が築き、先輩方から受け継いできた土台をもとに、「いま」の附属中生が思い描く理想の学校像を言葉にして、全校生徒で明日の附属中学校をつくっていきましょう。学校作りは「一人ひとりの姿勢から」です。さまざまな生徒会活動（委員会活動やクラスの係活動や学校行事など）は附属中生一人ひとりの成長のチャンスです。創意工夫のある生徒会活動を通して、附属中生が心身ともにたくましく成長していくことを願っています。

本部役員選挙を終えて～抱負と感謝～

この度の本部役員選挙で7期 生徒会長、生徒会本部役員に信任された4名より
～「これからの抱負とみんなへの感謝」というテーマで挨拶してもらいました～

生徒会長

こんにちは。今回生徒会長になりました。3組の[]です。選挙結果が開示され、信任が決まったとき、とても嬉しかったです。また、喜びと同時に不安も覚えました。“私なんかに生徒会長なんて大役が務まるのか”そんな不安が今でも私の中にあります。だけど、生徒会員全員が笑顔で学校生活を過ごせる様に私の出せる力、全てを使って活動します。そして、生徒会長として誇りをもてるように努力します。最後になりますが、私が信任をもらえる様に協力してくれた応援演説の[]さんをはじめとするたくさんの友達、先生方、ありがとうございました。私のために放課後残ってくださったり、勇気づけてくださったり…。嬉しかったです。これからも迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願いいたします。

本部役員

こんにちは。今回、生徒会本部役員になりました、3組の[]です。信任いただきありがとうございます。正直なところ、自分に全校を動かすような本部の仕事が務まるかどうか不安で立候補を悩んでいました。しかし、こうして役員にならせてもらったからには責任感をもって精一杯仕事をします。そして、他のメンバーと協力して会長を支え、後輩をリードできるように頑張ります。最後になりますが、[]さんをはじめとする応援してくれた方々、本当にありがとうございました。演説前にもたくさん、声をかけてもらい、緊張がほぐれました。

迷惑をかけてしまうこともあると思いますが、広い心で受け止めてくれると嬉しいです。これからも皆さんの協力をいただいて頑張っていきます。よろしくお願いいたします。

本部役員

この度、生徒会本部役員を務めることになりました[]です。まず、役員選挙で応援して下さった皆さん、ありがとうございました。無事、信任を得ることができました。また、応援演説を務めてくれた[]さんにはとても感謝しています。[]さんをはじめとする皆さんの支えがあったからこそ、ここまでこられたと思います。

私は、生徒会活動の中で生徒一人ひとりがもっと学校生活や行事に楽しく、前向きに取り組むことができるようにしていきたいです。そのためにどうすれば良いかをまず考え、活動していきたいと思います。

“生徒一人ひとりが主役の学校づくり” 私は、このことを大切にしていきます。これからもよろしくお願いいたします。

本部役員

この度、生徒会本部役員になりました、4組の[]です。はじめは、不安ばかりで立候補したけれど、クラスみんなが支えてくれたおかげで不安が安心に変わりました。ですから、演説中は緊張せず、逆に楽しさの方が大きかったです。それは、皆さんが演説をしっかり聞いてくれたり、応援してくれたりしたおかげです。これから役員として、生徒会を盛り上げ、そこから学校全体を盛り上げていきたいです。過ごしやすい学校を皆さんで創りましょう。信任したことを後悔させず、皆さんに信頼される役員になれるよう、頑張るのでよろしくお願いいたします。

7期生、全員で生徒会活動を支えていこう！

Smile Lunch Meeting

一つの教室に3学年が揃ってお昼の時間を過ごす、SLM（服のサイズではありません）が行われました。これは学年間の縦の繋がりを深めることを目的に生徒会本部が考えた企画です。1学期に続いて2回目の取り組みとなります。1回目では昼食の後に全員で「なんでもバスケット」を行い、楽しみながら交流を深めました。2回



目の今回は、各学年2人ずつ6人の小グループに分かれて、会話を楽しみながらの昼食です。始めは固い表情が目立ちましたが、3年生からカナダ研修旅行の思い出話や準備しておいた方がよいことなどを聞くと、2年生もイングリッシュキャンプに向けてのアドバイスを後輩に語るなど、だんだんと会話が弾むようになりました。

12月2日（月）の6校時には全校交流イベントが開催されます。生徒会本部のがんばりに応え、みんなで盛り上げてほしいと思います。

道徳リレー

本校では、担任だけではなく学年の全ての職員が持ち回りで道徳の時間に取り組む、道徳リレーを行っています。“ラグビー日本代表”の話題や“身近なルール違反に罰金をつけるとしたら”など、どの先生も今、生徒に伝えたいことをテーマに趣向を凝らした題材を用意しています。そんな中、生徒たちの反響が大きかった資料の一つを紹介します。

「バラ色のレンガでできた、とても美しい家を見ました。窓にはゼラニウムの花が飾ってあり、屋根には鳩がとまっていました。」と言っても、大人たちはそれがどんな家なのか検討もつきません。その代わりに、こう言ったとしましょう。

「1億2千万の家を見ましたよ。」すると、大人はこう言うでしょう。

「それはさぞかし素晴らしい家だったでしょう」

大人たちは数字を見れば安心するからです。

〈星の王子さま より〉

テストの点数や成績だけではなく、あらゆる場面で生徒たちの成長を見守っていきたいと思います。

姫のひとりごと

以前、高校野球で甲子園に出場したある高校の話です。その学校の生徒たちは皆「必支」という言葉を刺しゅうした、手作りのお守りを握りしめて応援をしていました。もちろん「必支」は造語ですが、「あなたがピンチのときも、チャンスのときも私たちは必ず支えるから」という思いが込められていました。人は、どんなときも全面的に自分を受け入れて、支えてもらえると確信できると、安心して伸び伸びと力を発揮できるのだと思います。

生徒会役員が決まり、いよいよ7期生が附属中学校を引っ張っていくときになりました。全員で盛り上げていけると信じています。